熊本県立球磨支援学校
平成３０年１１月発行

進路だより



第５号

高等部・中学部合同で「ようこそ先輩」の学習に取り組みました。

今年３月に卒業した、倉本さん（ゆめマート人吉店勤務）と橋嶋さん（イスミ人吉 SS 勤務）の二人に学校に来ていただき、仕事と現場実習の違いや卒業に向けての準備を、進路決定する上で大切にしていかなくてはならないことなどを在校生に話していただきました。在校生からもたくさんの質問が出され、それぞれが、自分の将来や学校生活をどのように送っていけば良いのか等を、真剣に考えている姿が多く見られました。いくつかの質問を紹介します。



Q　朝は何時に起きていますか。
A　７時３０分には仕事が始まるので、５時５０分には起きています。
Q　職場で求められる力は何ですか。
A　コミュニケーション力や臨機応変な対応。
Q　実習と仕事の大きな違いは何ですか。
A　実習中は先輩からの細かな指示があるが、仕事は、担当している業務に慣れてくると自分で考えて行動しなければならないことが増える。
Q　卒業して仕事をするようになって変わったことはありますか。
A　自分から積極的に話すようになった。
A　自分から仕事を見つけ取り組めるようになった。





中学部の取り組み！

１１月２６日（月）から進路学習**「チャレンジ・ジョブ」**が始まります。球磨支援学校の卒業生が働く事業所の職場見学や株式会社 JTS（あさぎり町）から仕事を受託して取り組む仕事体験、地域の事業所での職場体験を行います。今年度は１学期から高等部現場実習報告会に参加し、いろいろな仕事があることを知り、卒業後の生活について少しイメージが湧いているところです。次号にて報告させていただきます。

小学部の取り組み！

「行ってみよう！やってみよう！」（１・２年生）

「レッツゴー☆ひとよし」（３・４・５・６年生）

日頃の学習の成果を発揮して、校外学習での体験や経験の積み重ねに取り組んでいます。バスの乗り方、支払いのしかた等たくさんの「できた」の姿が見られました。





